



HASHIGUCHI

## COMPANY PROFILE



会社名：株式会社橋口組  
住所：熊本市南区良町4丁目10番98号  
代表者：代表取締役 橋口光徳  
従業員数：28名(平成30年9月末現在)  
設立：1959年(昭和34年)  
資本金：9800万円  
年商：15億7,200万円(平成29年12月期)  
取引銀行：肥後銀行  
許可・登録：建設業許可 熊本県知事 特43-1274号  
事業種目：土木一式工事、とび・土工工事、  
舗装工事、しゅんせつ工事  
認証取得：ISO9001:2015認証

### MAP



<https://www.hashiguchi-gumi.co.jp>

株式会社  
**橋口組**

住所:熊本市南区良町4丁目10番98号  
TEL:096-378-2270 FAX:096-379-2453

# COMPANY HASHIGUCHI GUMI PROFILE



株式会社 橋口組

# MANAGEMENT POLICY QUICK RESPONSE

すばやい対応を合言葉とし、  
スピーディーに仕事に対応する



## GREETING ごあいさつ

1959年(昭和34年)に創業者の橋口初徳が有限会社橋口組を立ち上げ、1976年(昭和51年)に株式会社に組織変更し現在に至っております。

社の歴史の中で熊本県内を中心として、高速道路工事、トンネル工事、九州新幹線工事と数々の難工事を手がけ、熊本県内でトップクラスの土木建設会社として土木工事全般の施工を行っています。

会社の指針として、「ビッグカンパニーではなく、ストロングカンパニーを目指す」をスローガンに掲げ、創業以来「安定した会社に良い人材は育つ」をモットーとし財務内容を健全に保ち、全て現金支払いのみに徹底してきました。

これから急激な人口減少の時代に入り、各産業の産業構造が変わっていくと考えられますが、常に企業としての研鑽に励み、人づくりを行うとともに時代に合った企業として挑戦し続けてまいります。

代表取締役 橋口光徳

## HISTORY 沿革



1959年(昭和34年)6月	有限会社橋口組設立
1974年(昭和49年)5月	熊本県知事許可を初回許可
1976年(昭和51年)12月	株式会社橋口組に組織変更(資本金1000万円)
1977年(昭和52年)3月	資本金1000万円から1550万円に増資
1977年(昭和52年)12月	資本金1550万円から3050万円に増資
1979年(昭和54年)10月	資本金3050万円から5050万円に増資
1985年(昭和60年)7月	資本金5050万円から6000万円に増資
1990年(平成2年)6月	資本金6000万円から9800万円に増資
2002年(平成14年)11月	ISO9001:2015取得
2010年(平成22年)5月	代表取締役の橋口光徳が熊本県建設業協会第10代会長に就任
2018年(平成30年)5月	熊本県建設業協会会長を退任(4期8年)
2019年 6月	創業60周年

## QUALITY POLICY 品質方針

- 品質マネジメントシステムを効果的に運用することにより、法規制を満たすとともに、顧客のニーズを満たした建設物を提供する。
- 品質マネジメントシステムの継続的改善を行い、よりベストなものを追求する。
- 地域社会への貢献とともに、永続的な存続を目指す。

## BUSINESS

### 事業内容

#### 【地域社会の都市基盤づくり】

高速道路、トンネル、九州新幹線、橋梁、河川改修、道路改良、上下水道整備、宅地造成など様々な土木工事を請け負う建設会社です。確かな技術と豊かな経験で、安全で快適なまちづくりを担い、地域とともに「人」と「自然」が調和する環境を目指します。



# STAFF VOICE

ここにしかない、仕事がある。

建設現場の最前線で挑戦を続ける3人へのインタビュー



MASASHI IKEDA

工事部



JUNICHI INOUYE

工事部 主任



DAI INOUYE

工事部 課長

## MANAGEMENT 現場の総合マネジメント

私たちの仕事は河川、道路、橋梁といった大規模土木工事をフィールドに現場監督として施工計画を作成し、工事に関わるさまざまな管理を行うこと。自らハンマーを持ったり工事車両を操縦したりするわけではありません。仕事の守備範囲は幅広く、担う責任も小さくはありませんが、やりがいや達成感は格別。特に工事が完成したときの喜びは他では味わえないものです。

現場監督業務の  
主な仕事

- 工事計画の立案・資材や職人の手配
- 施工品質・予算・安全面などの管理
- 工程検査・完了検査の立会
- 関連書類の作成・発注先との各種調整、近隣対応



池田 将士 23歳

入社2年目  
二級土木施工管理技士  
熊本工業高校土木科卒



先輩の背中が成長の道標。  
現場は最高の学びの場！

以前は社員数1,000人以上の企業に務めていましたが、故郷に貢献できる仕事がしたいとUターン転職を決めました。入社して驚いたことは、社員同士の絆の深さ！少数精銳だからこそ助け合いの精神も強いと実感しています。資格試験の勉強時間が確保できず悩んでいたときも、現場での隙間時間を勉強に充てさせてもらったり、分からぬところを教えてもらったり…。温かく応援していただきました。施工管理は、とにかく現場から学ぶことが多い仕事。先輩方の背中を追いかけながら、最短ルートで一人前の技術者へと成長していきたいです。



経験と知識、深い探究心が  
難局を乗り越える底力になる。

数ヶ月前から取り組んでいる現場は、熊本地震で破損してしまった橋梁の補修工事。こんな大規模な補修は初めての経験ですし、災害復旧という特殊な工事であることも相まって、難易度は相当高いです。日々、どうやって仕事を進めていくべきか極限まで考え抜き、これまでの知識と経験をフル回転させて業務にあたっています。常に気をつけているのは、手戻りがないよう正確に工程を引くこと。安全、予算、工期といった複雑な要素に配慮しつつ、何よりも次の世代に誇れる“いいもの”を造りたい。その想いが、ハードな局面に挑戦する原動力です。



井上 隼一 33歳

入社9年目  
一級土木施工管理技士  
東海大学海洋土木学科卒

工事部 課長

03



井上 大 41歳

入社19年目  
一級土木施工管理技士  
九州東海大学土木工学科卒



多角的な視点を武器に  
人と人をつなぐ橋渡し役。

現場監督に求められるのは、多角かつトラブルの芽を見逃さない細やかな視点。そして、チームが円滑に機能するよう橋渡しをする役割です。例えば施工図ひとつ取っても、しつこいくらいに確認を重ねて発注側と折衝し、適正な工事ができるよう調整していきます。スムーズな仕事の影には、驚くほど多くの工夫があるものなんですよ。現場では大きな裁量が与えられているので責任やプレッシャーも感じますが、達成感もひとしおです。今後の課題は若手社員の育成、サポート。自ら考える力を大切に、丁寧な指導で会社全体のレベルアップを図っています。

社員インタビューの続きはホームページでもご覧いただけます。

橋口組 熊本

検索

<https://www.hashiguchi-gumi.co.jp>



HASHIGUCHI GUMI

# CAREER

## TRAINING SYSTEM

充実の社内教育体制

現場監督は、工事の成否に大きな影響力を持つ職種です。工事の機械化が進み、数年前には想像すらしなかった進化が起こる建設業界ではありますが、それを操り、活かすのは人間の仕事。「人を育てること」こそが企業の最重要課題であり、どんな時代も生き抜いていける力の源泉ではないでしょうか。

当社では、現場が最大の学びの場であるという認識のもと、OJT形式での研修、育成制度を採用しています。入社後は基礎研修を行い、それぞれの現場にてキャリアを研鑽。資格取得のサポートも惜しません。また、近年では技術や立場に合わせた外部研修にも積極的に参加。個々の力を磨くことが、技術力の強化につながると考えています。



## CAREER PASS

経験を積めば積むほど仕事の幅が広がり、裁量も増えます。



### 部門長（部長）

工事部のマネジメントを行います。工事全体や現場代理人を統括管理し、円滑に進めるために組織管理を行います。



20年目～

### ベテラン（課長）

安全・品質・工程・原価の全てをマネジメントします。発注者や協力会社との折衝や地域住民とのコミュニケーションを行いながら現場を統括します。



10年目～

### 中堅（主任）1級土木施工管理技士を取得<sup>\*1</sup>

現場代理人として、施工計画や予算管理などを行いながら現場を取り仕切っていきます。頼りになる上司として後輩の仕事をサポートします。



5年目～

### 若手 2級土木施工管理技士を取得<sup>\*2</sup>

測量や写真管理、安全管理など複数の現場を経験します。若手の主力として活躍の場を広げていきます。



2年目～

### 新人

先輩について現場で施工管理について学びます。まずは基本をしっかりと覚えていきます。



1年目

## TIME SCHEDULE

若手社員一日の流れ



7:30 出社

「私の場合、始業よりも少し早めに到着することが多いです。メールチェックをしたり、落ち着いて打ち合わせの手順を確認したり…。朝の時間を有効活用すると、日中も仕事が捲るんです！」



8:00 始業・朝礼

「朝礼では、その日に行う作業や全体的な進捗を確認します。協力会の皆さんと日頃からきちんとコミュニケーションを取っておけば、いざというときも安心！作業開始前には安全点検を行います」



9:00 現場にて監督業務

「新人のうちは、測量や記録写真の撮影が主な仕事。また、実施中の作業のスピード、質はどうか？足りない部材が発生していないか？安全に配慮しているか？など、チェック項目は膨大な数に上ります」



12:00 昼食休憩

「事務所に戻って昼食を取ったり、資格のテキストをめくってみたり。夏の間は体力の消耗が激しいので、横になって少しでも身体を休めます。ぐうぐうイビキをかいて寝ちゃう人もいますよ(笑)」



13:00 現場にて監督作業

「軽く打ち合わせて翌日の作業を確認したら、再び進捗を見守ります。工程表通りに進められるよう、段取りが大切ですね。図面と違う箇所が出てきた際は、上司や協力会の方と協議して軌道修正することもあります」



17:00 事務所にて作業

「現場から事務所に戻り、メールの返信や書類の作成を行います。仕事が溜まっているときや、用事があるときは30分以内に帰れることもあります。忙しいときとのメリハリがあって、働きやすいですね」



18:00 退社

「今日も一日、お疲れさまでした！帰宅後は趣味のボルタリングに出かけたり、資格の勉強をします。明日もいい仕事ができるよう、夜は早めに、ゆっくり休むようにしています」

## 橋口組ってどんな会社？

資格取得の経費は会社が全面的にバックアップ。  
スキル向上には最適な会社です。

とにかく仕事のスケールが大きい!  
「父ちゃんが造ったトンネルだぞ」と子どもに自慢しています(笑)

先輩や上司も家庭や趣味と仕事を両立している人ばかり！  
個人の時間も大切にしています。

災害復旧もインフラも、生活に密着している仕事。  
地域に貢献しているという誇りがあります。

現場に任せてもらえる裁量が大きく、  
自分で仕事を進めることができますよ。



新幹線やトンネル、高速道路の新設など、  
土木の花形と呼ばれる現場も  
多数経験できます。

\*1:1級土木施工管理技術検定試験は大学の指定学科卒業後、最短で3年目、高等学校の指定学科卒業後、最短で10年目に受験できます。

\*2:2級土木施工管理技術検定試験は大学の指定学科卒業後、最短で1年目、高等学校の指定学科卒業後、最短で3年目に受験できます。